

「令和元年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月10日公表の補足資料

関東農政局統計部

【茨城県の概要】

1 水稲

(1) 茨城県における令和元年産水稲の作付面積（子実用）は6万8,300haで、労力事情による作付中止等により、前年産に比べ100ha減少した。

また、主食用作付面積は6万6,400haとなった。

(2) 全もみ数（穂数×1穂当たりもみ数）は、穂数が平年並み、1穂当たりもみ数が平年並みで「やや多い」となり、登熟は、出穂期以降、最低気温が高い状態で推移したことにより、粒の肥大が抑制されたことに加え、8月中旬以降の日照不足により「やや不良」となった。

(3) この結果、茨城県の10a当たり収量は504kgで、前年産に比べ20kg減少した。また、作柄表示地帯別では、北部で510kg（前年産に比べ15kg減少）、鹿行で512kg（同16kg減少）、南部で501kg（同23kg減少）、西部で499kg（同23kg減少）となった。

なお、農家等が使用しているふるい目幅（1.80mm）で選別された茨城県の作況指数は96となり、作柄表示地帯別では、北部及び鹿行で98、南部及び西部で95となった。

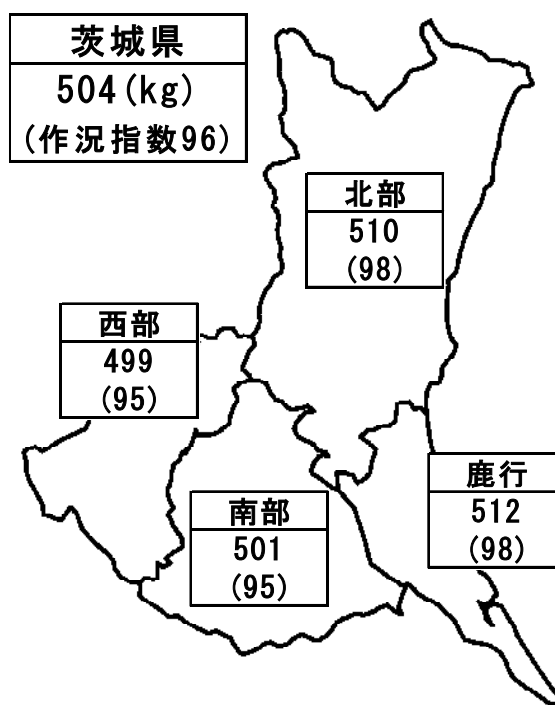
(4) 以上のことから、収穫量（子実用）は34万4,200tで、前年産に比べ1万4,200t減少した。

また、主食用作付面積に10a当たり収量を乗じた収穫量（主食用）は33万4,700tで、前年産に比べ1万5,300t減少した。

2 陸稲

令和元年産陸稲の作付面積（子実用）は487haで、前年産に比べ41ha減少し、収穫量（子実用）は1,170tで、前年産に比べ130t減少した。

図 水稲の作柄表示地帯別
10a当たり収量及び作況指数

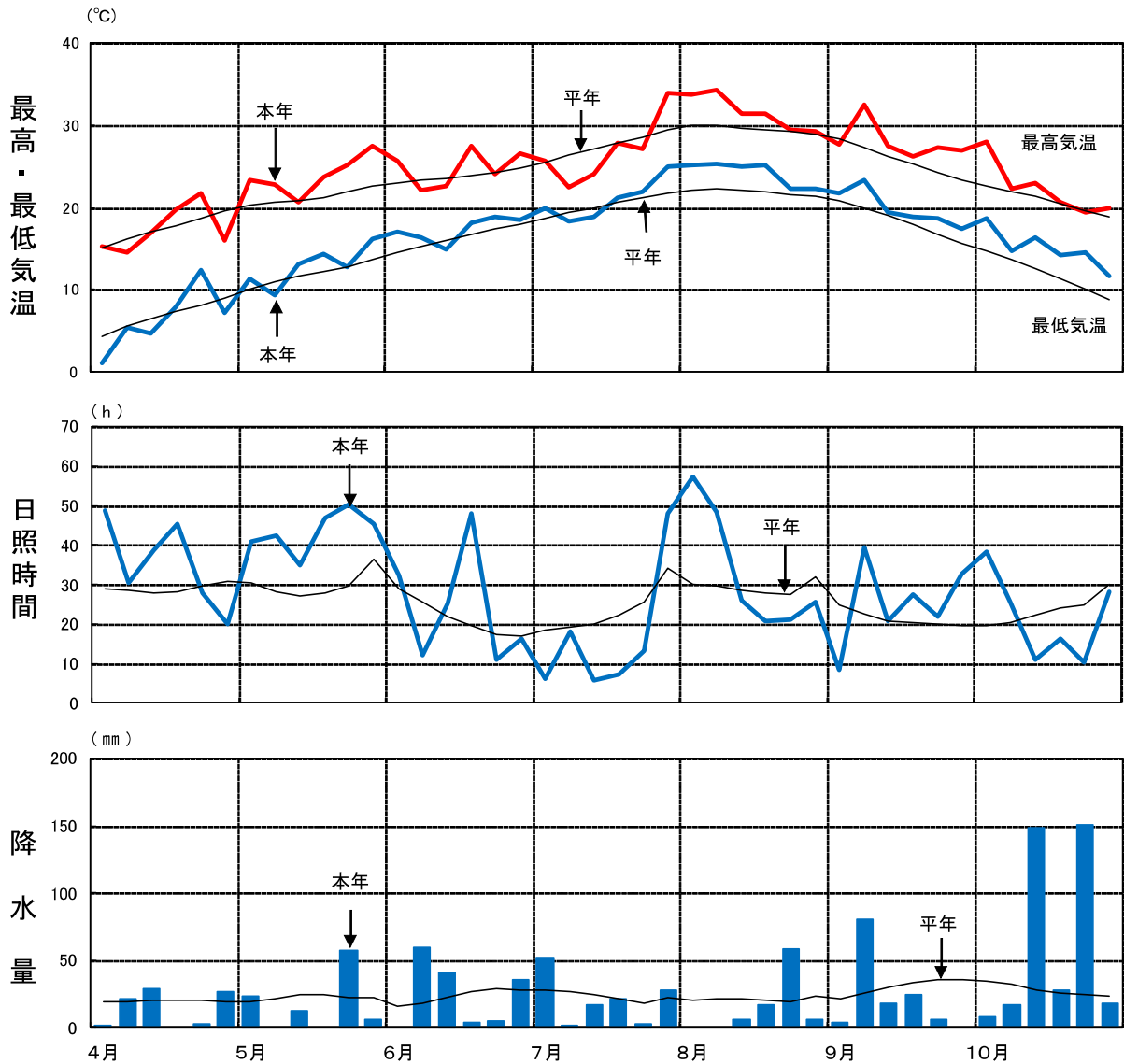


○ この資料は、「令和元年産水陸稲の収穫量（関東農政局管内）」12月10日公表の補足資料として作成したものです。
詳細については同公表資料を御覧ください。

本資料は、関東農政局ホームページ「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。

【 http://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/ 】

令和元年 半旬別気象（水戸）



資料：気象庁



注：田植期、出穂期及び刈取期の期日は、いずれも最盛期を示す。
 なお、()内は、平年との遅速(日数)を示す。

お問合せ先

◎本統計調査結果について

関東農政局 茨城県拠点 統計チーム

電話：029-231-2266

FAX：029-227-1535